

耐荷重：100kg



重要

- ・ベースキャリア+キャリア+アクセサリ+積載物の合計重量=車両の耐荷重を超えないようにしてください。
- ・車両のルーフ耐荷重は、車両メーカーの仕様書を確認し、最も低い積載定格を参照してください。
- ・オフロード走行については、右のQRコードを読みこみ、ロックロードの積載定格ガイドをご確認ください。耐荷重が減少する場合があります。



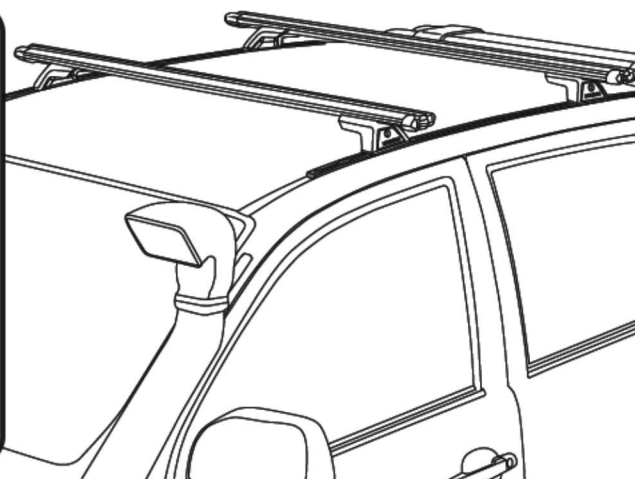
取り付ける前にご確認ください

- ・取り付け前に取付説明書をよくお読みください。
- ・セット内容を確認してください。部品に欠品や破損がある場合は、購入した店舗にご連絡ください。
- ・本商品を取り付ける前に、ルーフを徹底的に清掃してください。
- ・取り付け完了後は、この取付説明書を車両のダッシュボードで保管してください。



必要な工具

- ・消えないペン
- ・メジャー
- ・マスキングテープ
- ・ドリルストップ(最大6mm)
- ・ハンマー
- ・リベットガン
- ・はさみ
- ・センターパンチ
- ・掃除機
- ・自動車用脱脂剤
- ・自動車用接着剤
- ・ジンクリッチ冷間
亜鉛メッキコーティング溶液
- ・電動ドリル
- ・マイナスドライバー
- ・マスチックシリコンシーラント
- ・金切り鋸
- 【TrimHDバーを取り付ける場合】
- ・13mmソケットまたはスパナ
- ・10mmオープンエンドスパナ
- ・ゴムハンマー(推奨)
- ・2番プラスドライバー

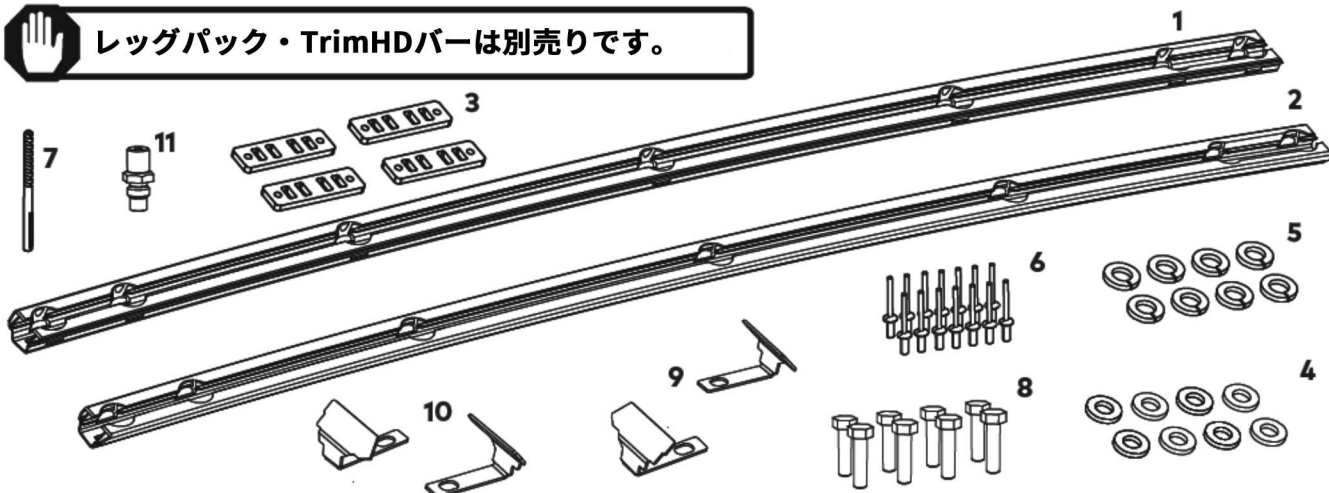


セット内容

番号	部品名	個数	番号	部品名	個数
1.	トラックパック右側	x1	7.	ドリルビット	x1
2.	トラックパック左側	x1	8.	M6六角ねじ	x8
3.	トラックナットプレート	x4	9.	エンドキャップ(フロント左/リア右)	x2
4.	M6ワッシャー	x8	10.	エンドキャップ(フロント右/リア左)	x2
5.	M6スプリングワッシャー	x8	11.	リベットガン用ノズル	x1
6.	リベット	x14			



レグパック・TrimHDバーは別売りです。



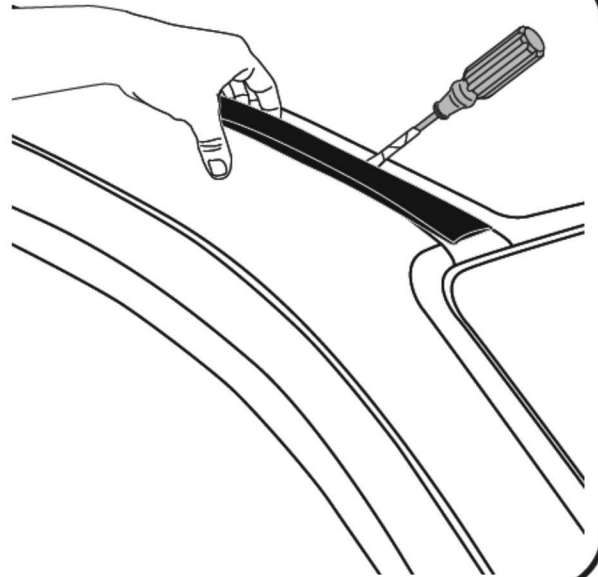
トラックの取り付け

1 取り付け前に屋根を清掃し、 ルーフモールを取り外します。

取り付けを開始する前に屋根を徹底的に清掃し、十分に乾燥させてください。

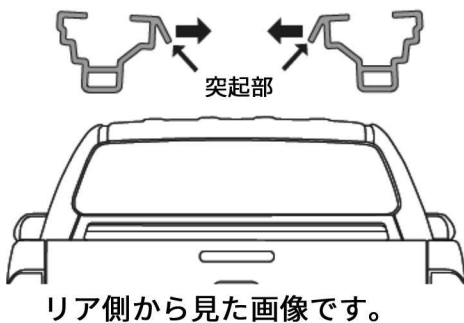
マイナスドライバーを使用し、ゴム製のルーフモールを慎重にこじ開けます。車両に傷がつかないように、ドライバーの先端にテープを巻き付けて行ってください。その後、指でルーフモールを取り外します。

取り外したルーフモールは、手順⑬で使用します。なくさないように保管してください。



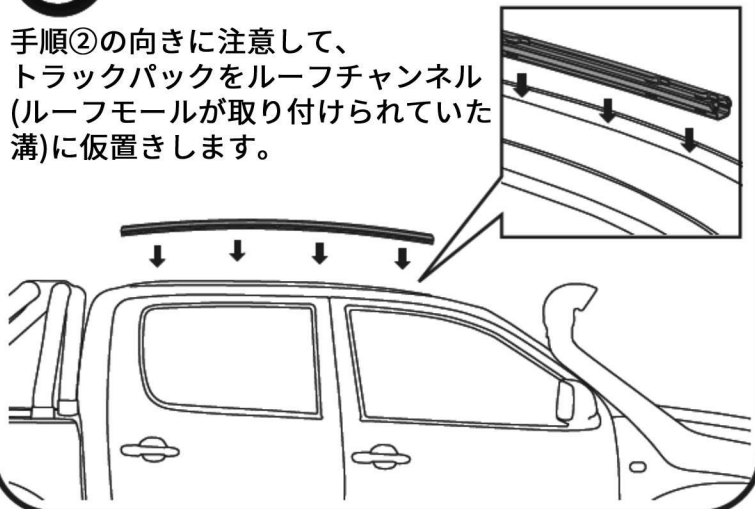
2 トラックパックの向きを確認します。

トラックパックの側面にある突起部は、図のように車内中央を向くように、長方形の切り欠きがリア側に向くように配置します。



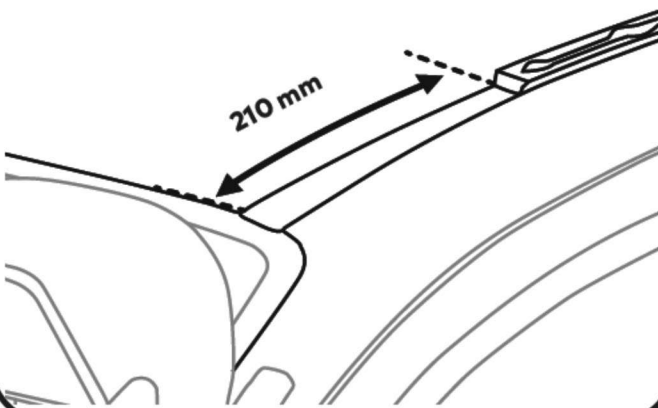
3 トラックパックを、ルーフチャンネルに 仮置きします。

手順②の向きに注意して、トラックパックをルーフチャンネル(ルーフモールが取り付けられていた溝)に仮置きします。



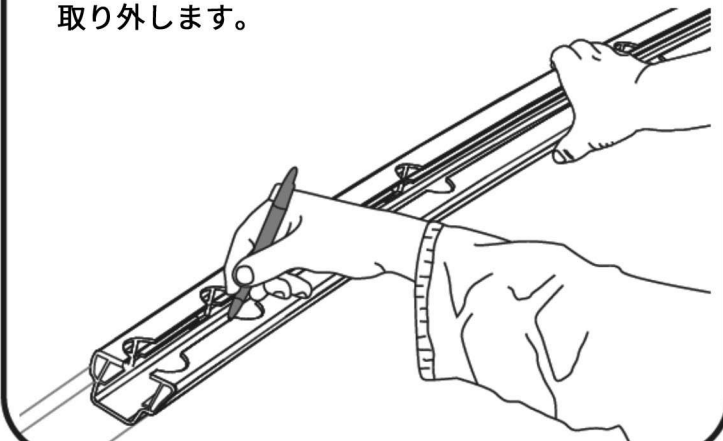
4 トラックパックの位置を測定します。

メジャーを使用し、図のようにフロントガラスのゴム端から210mmの位置に、トラックパックを配置します。測定位置にマスキングテープで印をつけてください。



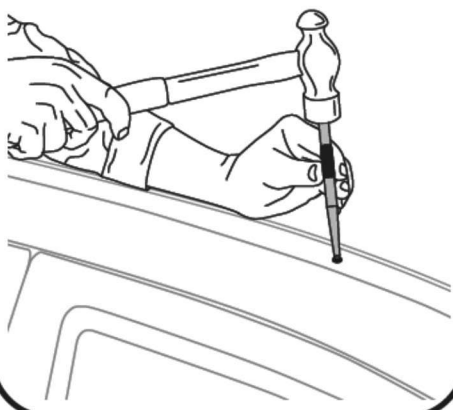
5 トラックパックの穴位置に印をつける。

2人で行ってください。トラックパックをルーフチャンネルにしっかりと固定し、消えないペンですべての穴位置に印を付けます。完了後はトラックパックを取り外します。



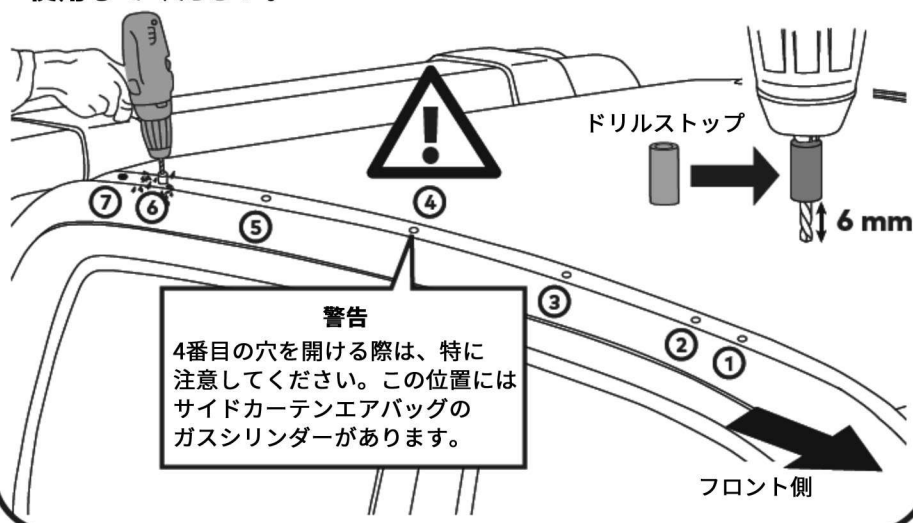
6 センターパンチを打ち込みます。

手順⑤で印を付けた位置に、ハンマーでセンターパンチを正確に打ち込んでください。



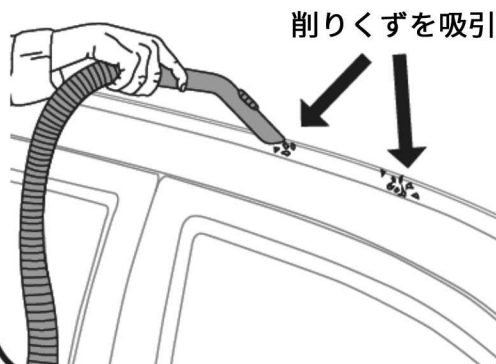
7 ルーフチャンネルに穴を開けます。

ドリルストップ(ドリルの深さ最大6mm)と付属のドリルビットを使用し、印をつけた箇所に慎重に穴を貫通させてください。
ルーフの内張りを貫通させないように、ドリルストップを必ず使用してください。



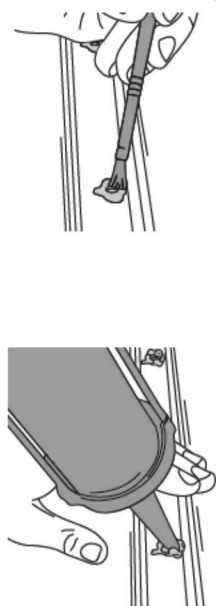
8 削りくずを除去します。

削りくずが開けた穴に入らないように、掃除機を使用してルーフチャンネルから削りくずを除去してください。



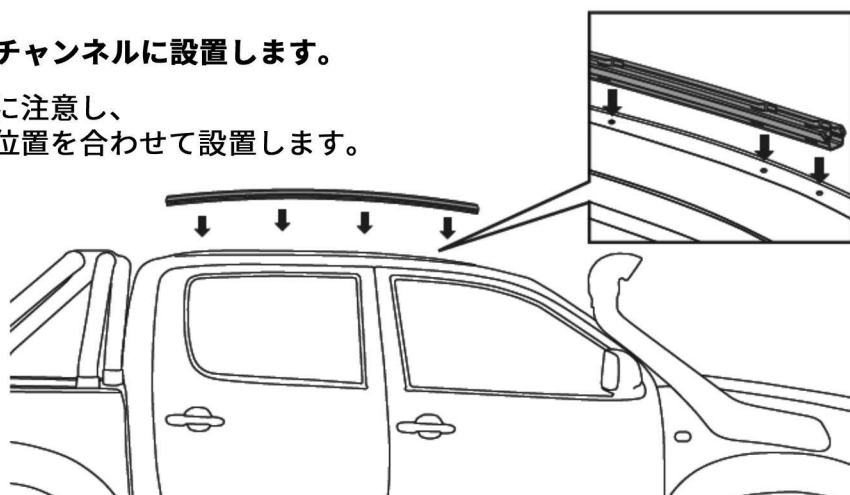
9 マスチックシリコンシーラントを塗布します。

1. ドリルで開けた穴の内側と周囲に、亜鉛を豊富に含んだジンクリッチ冷間亜鉛メッキコーティング溶液をたっぷりと塗布してください。
塗布した部分を触っても指につかない状態まで乾いてから次の手順に進んでください。
2. 各穴の内側と周囲に、マスチックシリコンシーラントをたっぷりと塗布してください。



10 トラックパックを再度ルーフチャンネルに設置します。

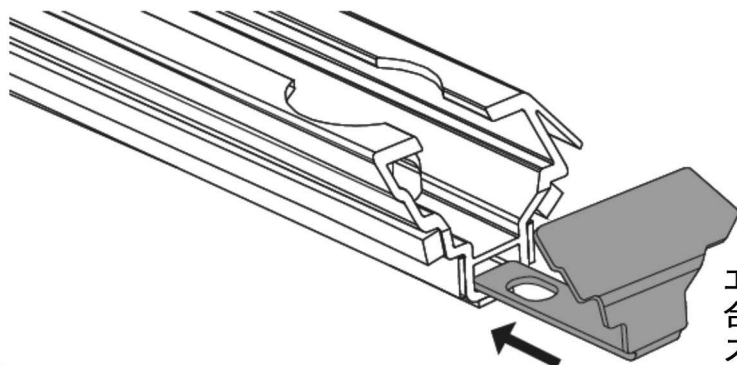
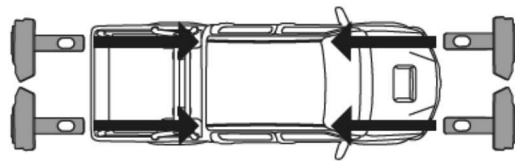
トラックパックの正しい向きに注意し、トラックパックと開けた穴の位置を合わせて設置します。



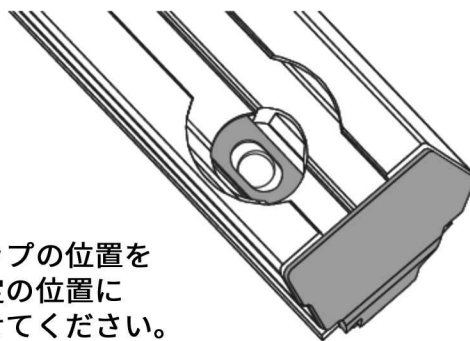
11

エンドキャップを取り付けます。

右図のように、エンドキャップの向きに注意してトラックバックにエンドキャップを取り付けます。



エンドキャップの位置を合わせ、所定の位置にスライドさせてください。

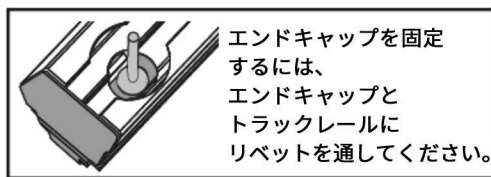


12

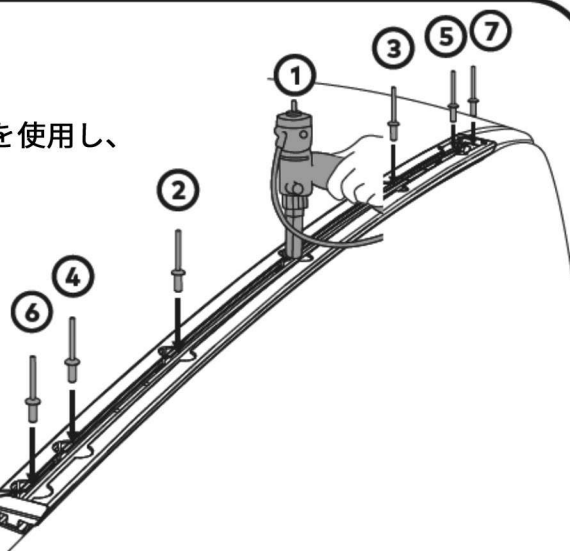
トラックバックを取り付けます。

トラックバックの穴の位置を合わせ、すべてのリベットを使用し、トラックバックとルーフチャンネルを固定します。リベットでエンドキャップも固定してください。

リベットガンと付属のリベットガン用ノズルを使用し、図のように中央のリベットから開始し、外側に向かって各リベットを取り付けてください。



エンドキャップを固定するには、エンドキャップとトラックレールにリベットを通してください。



13

ルーフモールを所定のサイズにカットし、再度取り付けます。

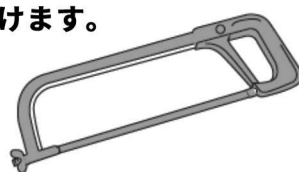
ルーフモールを再取り付けする前に、自動車用脱脂剤を使用し、トラックバックの前後にある露出したルーフチャンネルを徹底的に洗浄してください。

トラックレールの前後で露出しているルーフチャンネルを覆うため、手順①で取り外したルーフモールを、適切な長さにカットします。

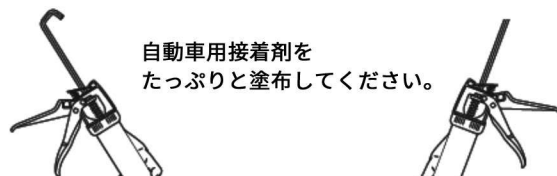
ルーフモールをルーフチャンネルに沿わせて配置し、必要な長さを測定します。フロント側は、ルーフモールの端がフロントガラスのゴムの下に収まる長さにする必要があります。ペンでカット線を引いてください。

車両からルーフモールを取り外し、金切り鋸を使用して、所定の長さにカットしてください。ルーフチャンネルに自動車用接着剤をたっぷりと塗布し、ルーフモールを再度取り付けます。余分な接着剤は湿らせた布で拭き取り、乾燥させてください。

ルーフモールには金属が含まれているため、金切り鋸をご使用ください。トタン用ハサミで代用することも可能です。



自動車用接着剤をたっぷりと塗布してください。

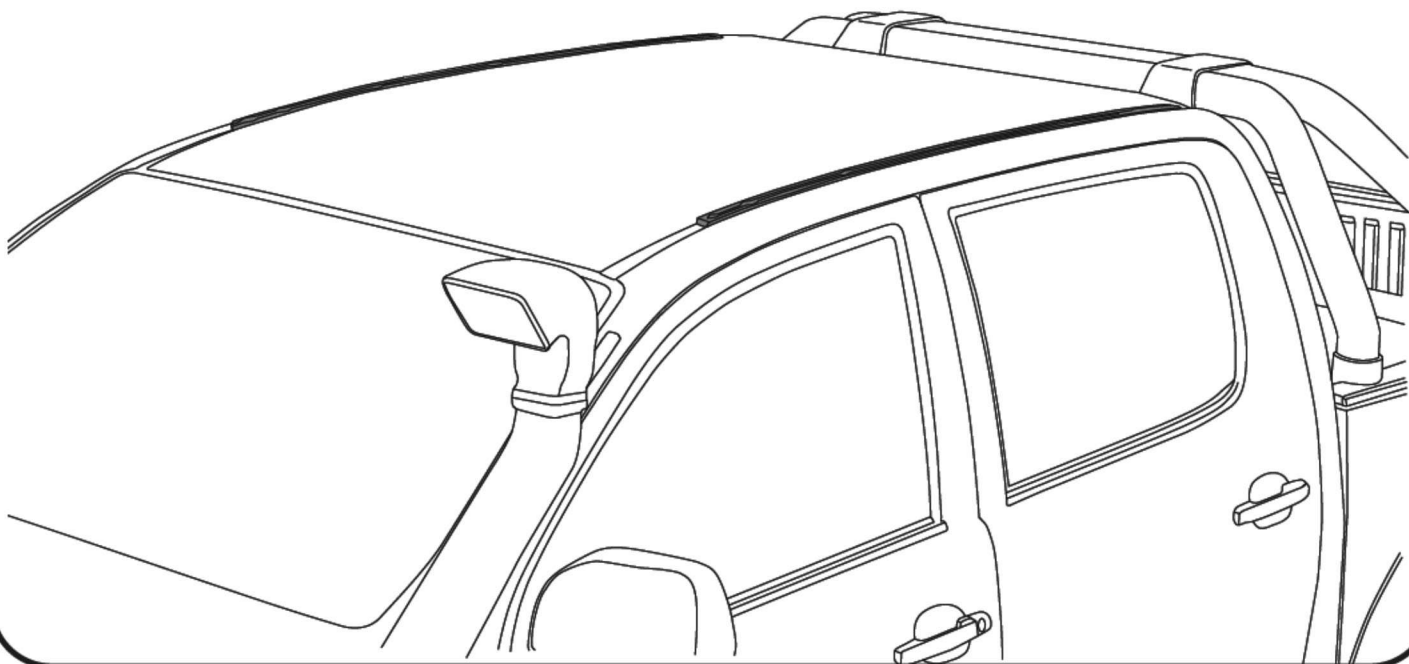


リア

フロント

14**トラックバックの取り付けは終了です。**

本取付説明書に従って、左右両方のトラックバックが車両にしっかり取り付けられているかを確認してください。



TrimHDバーを取り付ける場合は、手順15に進んでください。

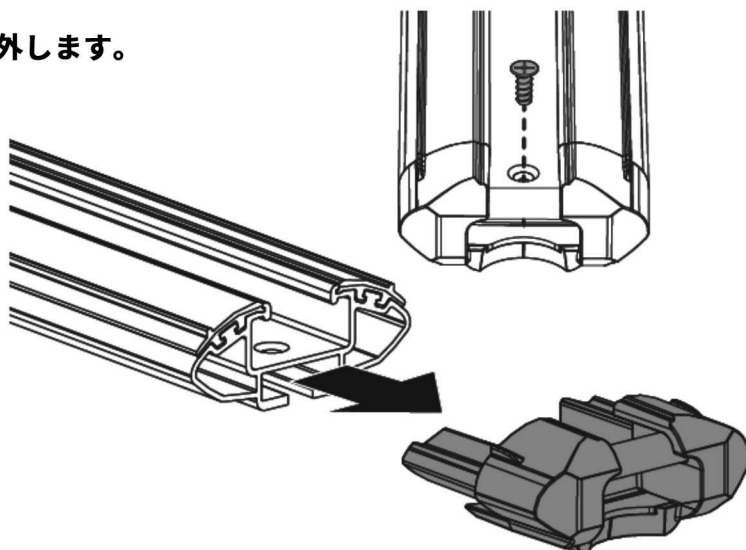
ロックンロードを取り付ける場合は、ロックンロードの取付説明書に従って取り付けてください。

TrimHDクロスバーの取り付け

15 TrimHDバーのエンドキャップを取り外します。

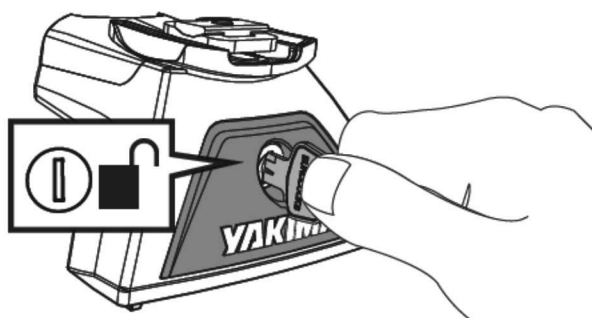
2番のプラスドライバーを使用し、バーの各端にあるプラスタイトねじを取り外し、エンドキャップを引き抜きます。

取り外した部品は、後の手順で使用します。なくさないように保管してください。



16 レッグパックのカバーを取り外します。

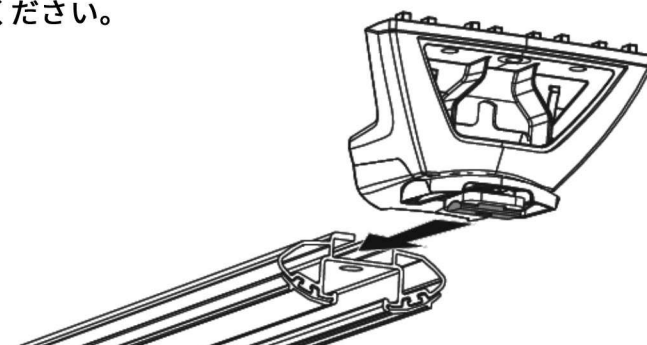
レッグパックに付属しているSKSキーを使用し、カバーを取り外します。



17 レッグパックをバーに取り付けます。

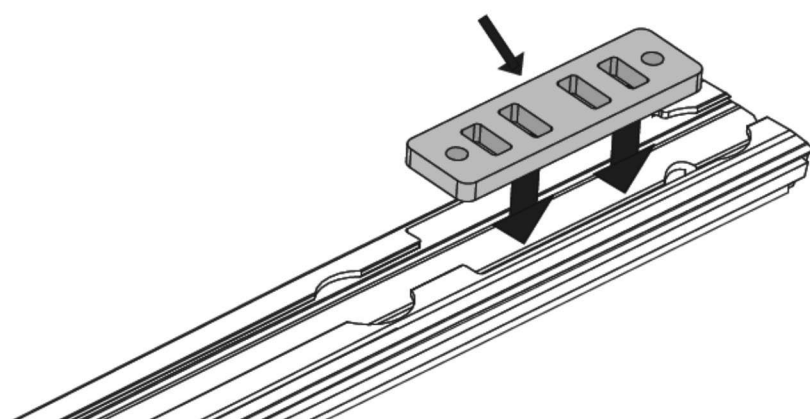
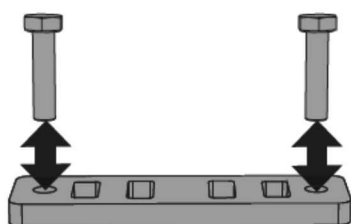
レッグパックの取付説明書に従って組み立てたレッグパックを、バー下側の溝に差し込みます。

差し込めない場合は、ねじを緩めて隙間を広げてください。



18 ナットプレートを取り付けます。

ナットプレートのボルト取り付け穴にM6六角ねじを通し、バリを取り除きます。図のように、左右のトラックパックにナットプレートを2枚ずつ差し込んでください。

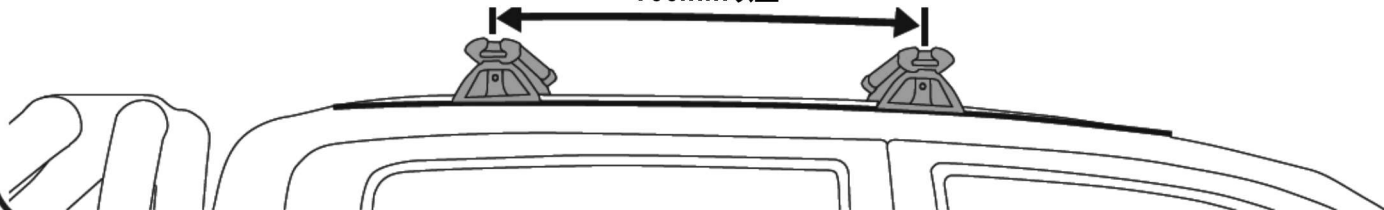


19

TrimHDバーを仮置きします。

重要：TrimHDバーの取り付けを行う前に、ルーフの取り付け位置を決めます。
クロスバー間隔は、700mm以上が推奨です。

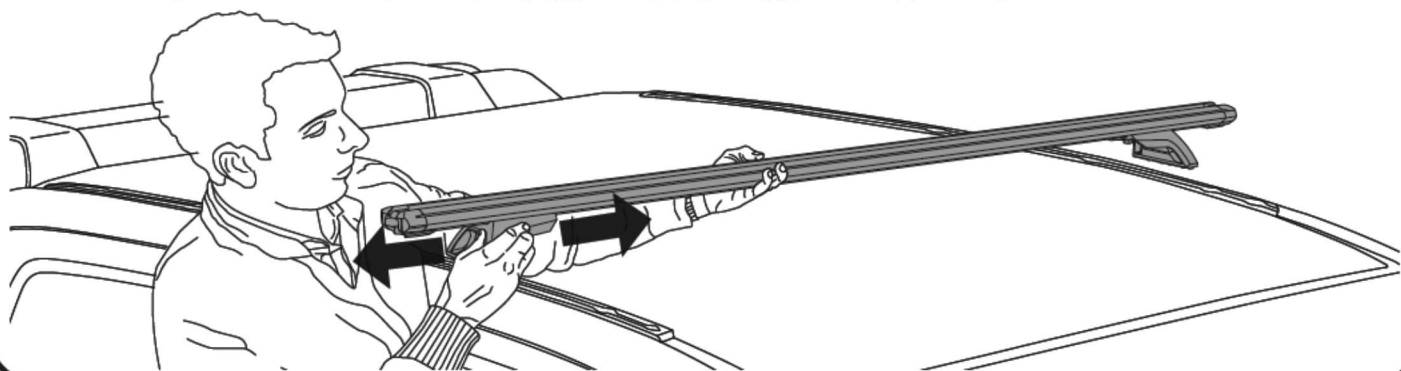
700mm以上



20

TrimHDバーを仮取り付けします。

手順⑰で組み立てたTrimHDバーとレッグパックを、トラックパックに差し込んだナットプレートの上に慎重に配置し、手順⑲で確認したクロスバー間隔になっているかを確認してください。車両を傷つけないようにご注意ください。レッグパックをスライドさせ、ナットプレートにしっかりと固定される位置に合わせてください。

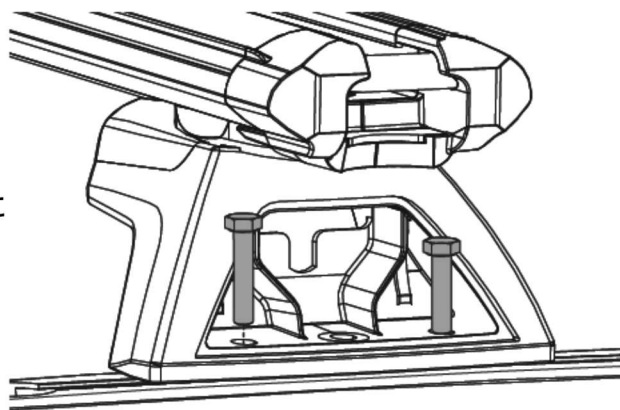


21

レッグパックをトラックパックに仮取り付けします。

トラックパックに付属のM6六角ねじを、図のようにレッグパックの外側の2つの穴を通してナットプレートに差し込みます。

5mmのボールエンド六角レンチを使用し、ねじを緩く締めてください。



22

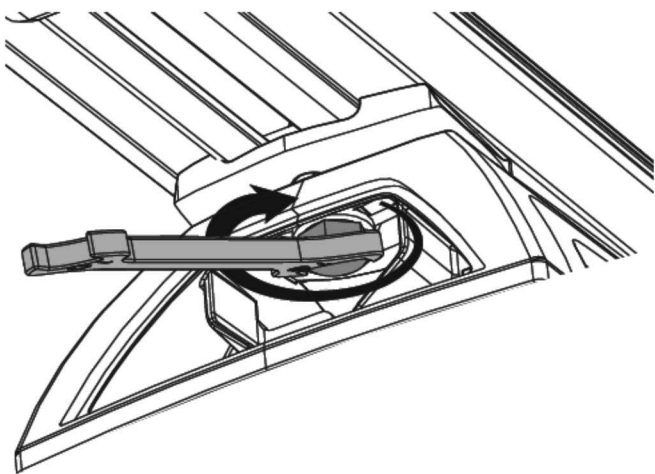
TrimHDバーの張り出しを調整します。

メジャーを使用し、レッグパックからの張り出しが左右均等になっていることを確認し、必要に応じてレッグパックをスライドさせて位置を調整してください。



23 TrimHDバーとレッグパックを完全に固定します。

13mmのスパナを使用し、全てのM8止めねじを9Nmのトルクで締め付けてください。



24 もう一方のTrimHDバーも同様に行った後、車両から取り外します。

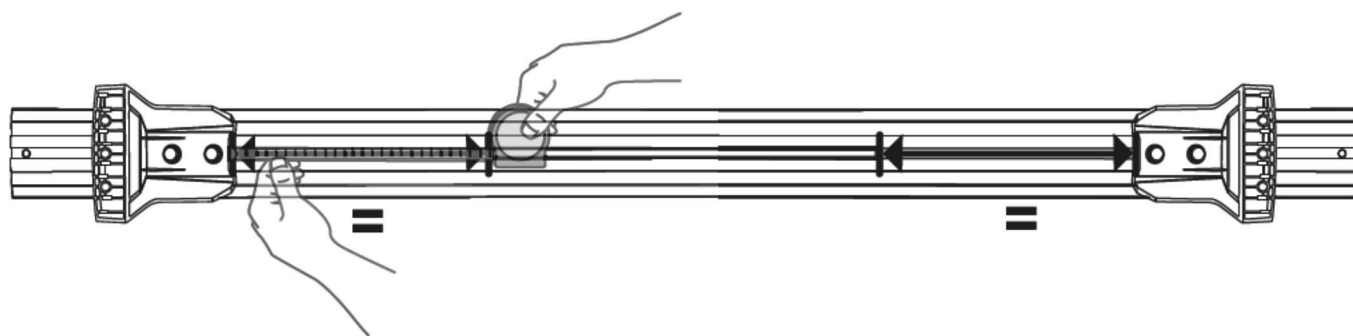
もう一方のTrimHDバーも手順⑳～㉓を繰り返し、同様に行います。
TrimHDバーおよびレッグパックを、車両から慎重に取り外します。



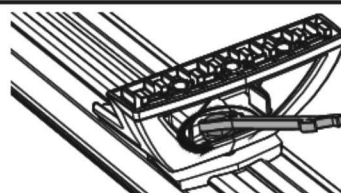
25 TrimHDバーの溝の距離を測定します。

図のように、レッグパックを上側にして、TrimHDバーを平らな面に置きます。
製品に傷が付かない場所に置いてください。

メジャーを使用し、TrimHDバーに取り付けたレッグパックから溝の端までの距離を測定します。
図のように、測定はレッグパックの中心から行ってください。

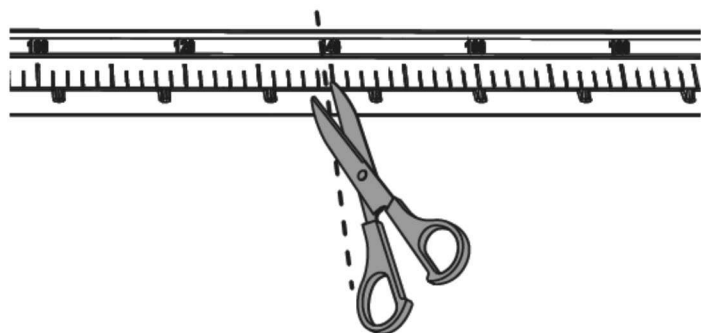


左右両側の測定値を均等にする必要があります。
異なる場合は、M8止めねじを緩め、手順⑳～㉓を繰り返してください。

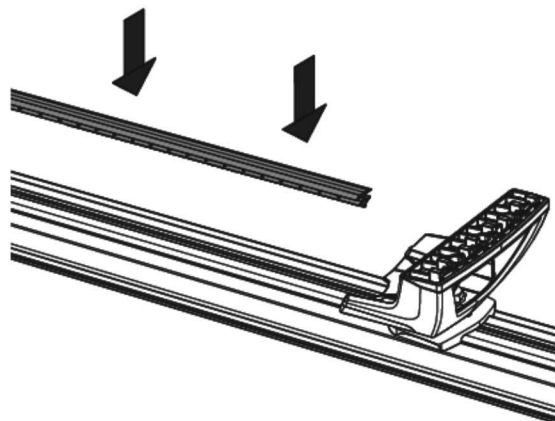


26 レッグパック内側のゴムモールを取り付けます。

TrimHDバーのゴムモールを、手順⑳で測定した長さに合わせて4つにカットし、右図のようにTrimHDバー下側の溝に差し込みます。

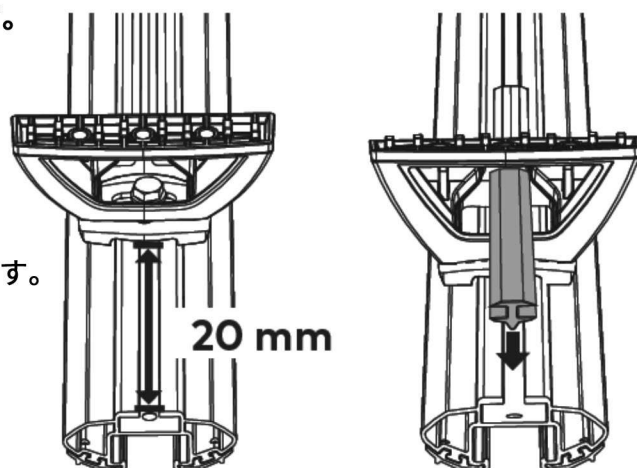


注意：ゴムモールは、平らな面が外側になるように差し込んでください。



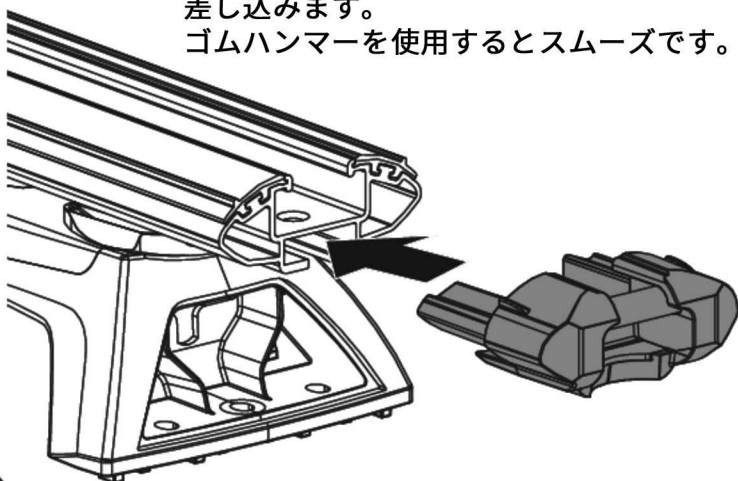
27 レッグパック外側のゴムモールを取り付けます。

レッグパックから外側の溝の距離を測定し、測定値より20mm引いた長さにゴムモールをカットします。右図のようにTrimHDバーの各端の溝に差し込みます。



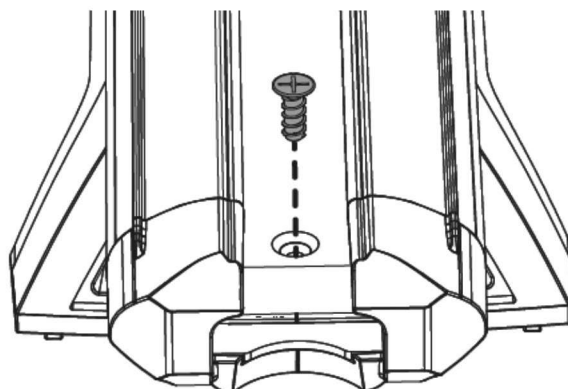
28 TrimHDバーのエンドキャップを取り付けます。

手順⑮で取り外したエンドキャップを差し込みます。
ゴムハンマーを使用するとスムーズです。



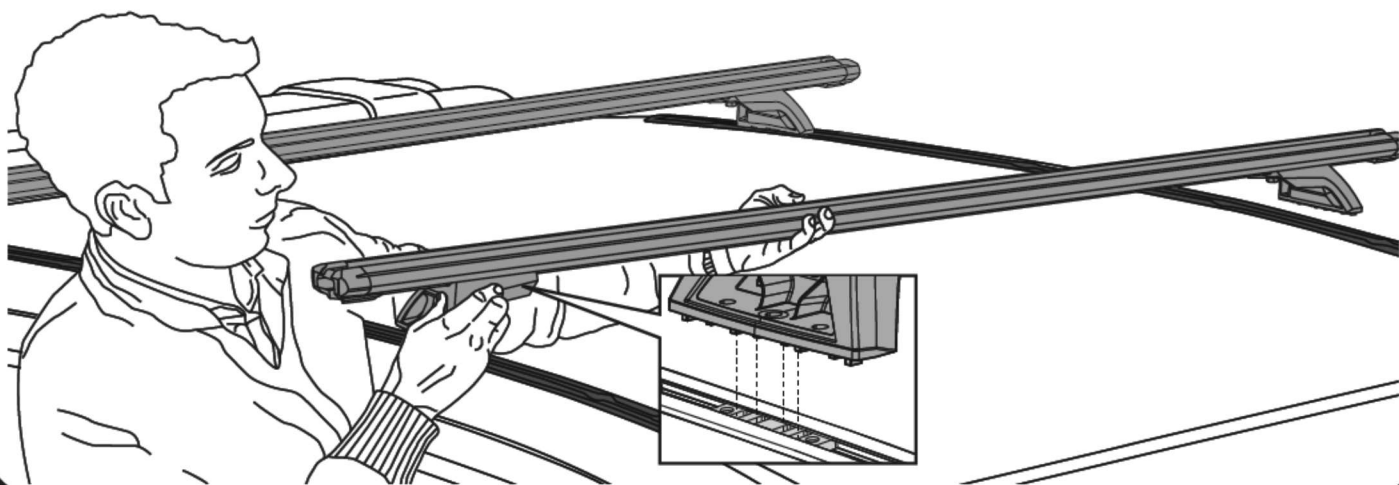
29 エンドキャップを固定します。

手順⑮で取り外したプラスタイトねじで固定します。2番のプラスドライバーで締め付けてください。

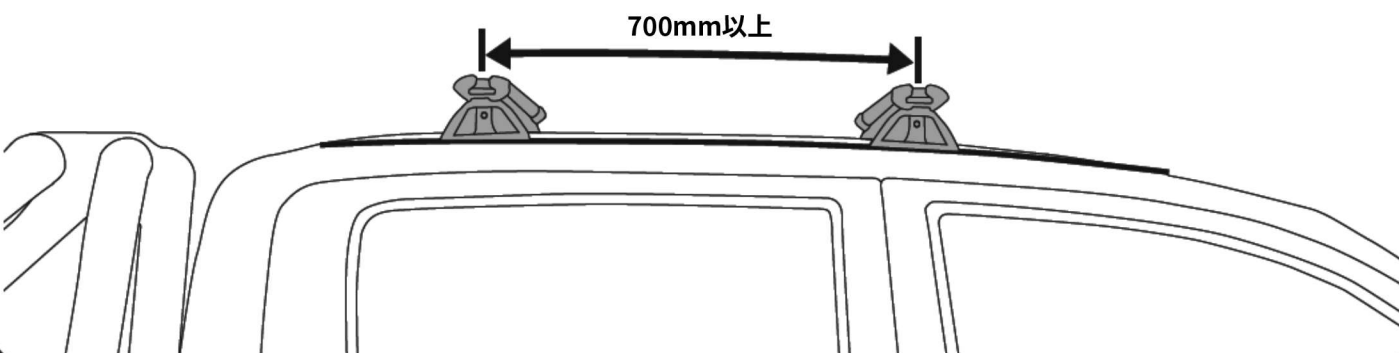


30**TrimHDバーを取り付けます。**

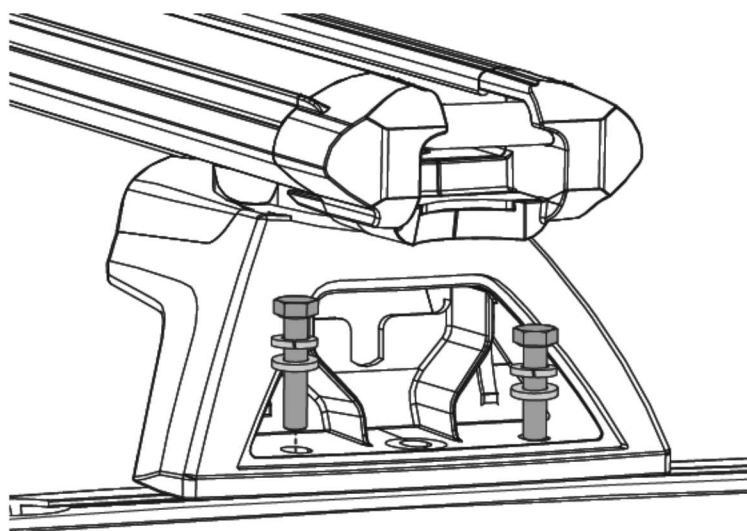
TrimHDバーを取り付ける位置に、トラックパック上のナットプレートをスライドさせます。
 (現段階では正確な位置でなくて構いません。) TrimHDバーおよびレッグパックを
 トラックパック上に置き、図のようにレッグパックの底面中央にある4つの盛り上がった
 切り欠きを、ナットプレートの切り欠きに慎重に合わせます。車両を傷つけないよう注意して
 ください。残りのTrimHDバーについても同様の手順で取り付けてください。

**31****クロスバー間隔を確認します。**

フロントとリアのTrimHDバーをトラックパックに沿って配置し、
 クロスバー間隔が700mm以上あることを確認してください。
 図のように、各レッグパックの中心から距離を測定してください。

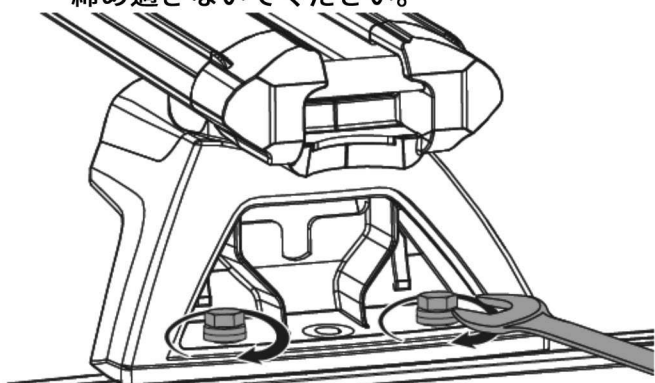
**32****M6六角ねじを取り付けます。**

トラックパック付属のM6六角ねじに
 M6スプリングワッシャー、
 M6ワッシャーを取り付け、
 図のようにレッグパックの外側の穴を
 通してナットプレートに差し込んでください。



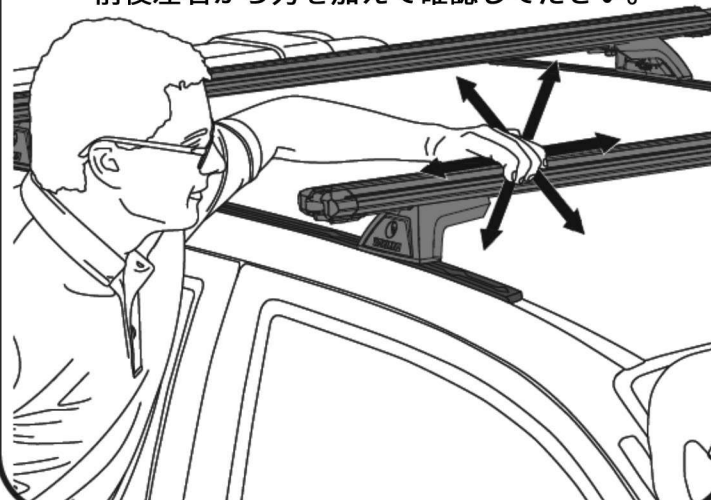
33 TrimHDバーをトラックパックに固定します。

10mmのオープンエンドレンチを使用し、全てのM6六角ねじを5Nmのトルクで締め付けてください。
締め過ぎないでください。



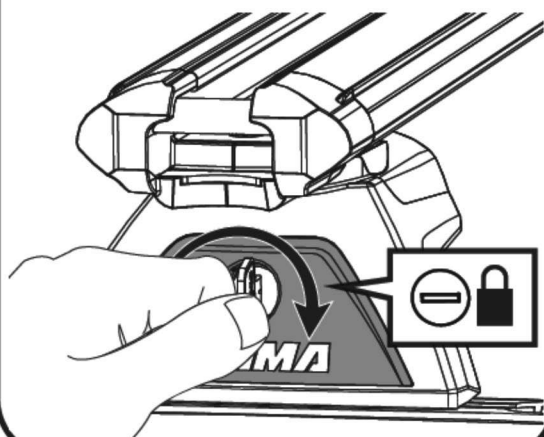
34 しっかりと固定されているかを確認します。

キャリアがしっかりと固定されているか、前後左右から力を加えて確認してください。



35 レッグパックカバーを取り付けます。

レッグパック付属のカバーを全て取り付け、SKSキーでロックします。



36 SKSキーを適切に保管します。

付属するSKSキー2個のうち1個は車の鍵に取り付け、もう1個は安全な場所に保管するか、車のスペアキーと一緒に保管してください。

SKSキーに刻印されているキー番号を下記の四角内にご記入ください。
補修パーツでSKSキーの追加購入も可能です。
お近くの販売店までお問い合わせください。

SKSキー番号

注意事項

取り付けに関して

積載物の固定が不十分であったり、ルーフラックやアクセサリーの取り付けが不適切だと、走行中にキャリアが落ちるなど重大な事故につながる恐れがあります。取り付け、取り扱い、使用は、製品および車両の説明書に従い行ってください。

この説明書に加えて、ルーフラックの取り付け説明書と車両の取扱説明書を確認してください。

本取扱説明書は、車両の取扱説明書と共に保管し、使用中は車内で保管してください。

安全のため、GSテストなど試験済みのルーフキャリアのみを使用してください。(※GSテストとは、ドイツの製品安全法に基づいて行われるテストで、国際的にも認められています。)

フロントとリアのクロスバー間隔が指定されていないルーフラックの場合、少なくとも700mm、もしくは可能な限り大きく間隔をとるようにしてください。アクセサリー・ラックに穴を開けるなど加工をしての取り付けは推奨しておらず、保証対象外となりますので十分にご注意ください。

取り付け金具と積載物がしっかりとフィットし、問題なく機能するかを、以下のような時に確認してください。

- ・出かける前
- ・ラックまたは積載物を載せた後
- ・短い距離(50kmまたは30分)を走行後
- ・長時間の移動では定期的に
- ・悪天候、悪路走行時は2時間おきに
- ・車両から数時間離れた後(外部からのダメージ有無確認)

ラック取り付け

ルーフラック、アクセサリーラックに指定されている最大耐荷重、または車両メーカーが推奨する最大耐荷重を超えないように積荷をしてください。
最大重量＝ルーフラック本体重量＋アクセサリーラック重量＋積載物重量

積載物は可能な限り低く積み、かつ荷重を均一に分散させてください。

積載物がルーフラックの積載面から大幅にはみ出さないようにしてください。

走行中の注意点

走行速度は、キャリアの積載物と制限速度に適したものでなければなりません。

どのような積載物を運搬する場合でも、車両の速度は道路の状態、交通状況、天候などあらゆる条件を考慮に入れてください。
車両のハンドリング、コーナリング、ブレーキング、横風に対する対応は、積載物の重量、荷姿、形状などによって変化します。

オフロード走行は推奨しておらず、車両やギアの損傷につながる恐れがあります。

メンテナンス

不使用時、アクセサリーラックは入念に拭き上げメンテナンスし、安全な場所で保管してください。(冬期は特に)
水溶性洗剤、もしくは一般的な洗車液を使用し、アルコール、漂白剤、アンモonium添加剤が入っている液体は使用しないでください。
燃費と他の道路利用者の安全のため、アクセサリーラックとルーフラックは、使用しない時は取り外して車庫などの屋内で保管してください。

アクセサリーラックに損傷がないか定期的に点検してください。
紛失、損傷、磨耗した部品は交換してください。スペアパーツは、YAKIMA 正規品のみを使用してください。

ルーフラックやアクセサリーラックに加工を加えたり、メーカーが供給した以外のスペアパーツやアクセサリーを使用したりすると、メーカーの保証が失効し、それによって発生する物的損害や事故はお客様の責任になります。
本取扱説明書を確認の上、供給された正規部品のみを使用してください。

YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト：<https://yakima.com/>
日本語サイト：<https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

AUTOPROZ

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL：0779-89-2171

Mail：info@auto-proz.com

HP：<https://www.auto-proz.com/>